



議会だより

今回の題字は、^{やま} ^だ ^{おと} ^な **山田 温和**さん（可愛小学校6年生）です。



『のびる つながる ひろがる』 感動あふれる学校 安芸高田市立可愛小学校



地域が学び舎

～畑の先生との野菜づくり



心を育てる

文部科学省委託「道徳教育
改善・充実」総合対策事業指定校



無名の鐘

大正15年5月 無名氏の寄付により
「無名の鐘」を設置し…。

[沿革誌より]



伝統を受け継ぐ～可愛っ子一心踊り

可愛地区振興会の法被をまとして



可愛川探検隊！

アユの放流 可愛川漁協との連携

6月定例会……………2～3

補正予算審査……………4～6

常任委員会報告……………7～9

一問一答

11人が市政を問う…10～15

27年度政務活動費 ……19

あんな こんな
地域のかがやき……………22

可決

平成36年の目標人口 27500人

傾注

補正後予算額 197億4762万円
 補正後予算額 114億8526万円
 補正後総予算額 312億3288万円

6月定例会

6月定例会を6月10日から6月27日までの会期で開催しました。

一般会計、特別会計3会計及び水道事業会計の28年度補正を予算決算常任委員会へ付託し、すべて原案のとおり可決しました。(補正予算審査は4〜6ページに掲載)

総務企画常任委員会へ2議案、文教厚生常任委員会へ2議案、産業建設常任委員会へ1議案を付託し、すべて原案のとおり可決しました。(各常任委員会審査は7〜9ページに掲載)

本定例会において議案14件について、いずれも原案のとおり可決しました。

一般質問では、11人が市政を問いました。(10〜15ページに掲載)

同意 (6件)

副市長の選任

竹本 峰昭 さん
 甲田町下甲立

同意



安芸高田市政の発展と市民の教育・福祉・生活の向上に努めてまいります。
 (任期28年6月10日〜32年6月9日)

監査委員の選任

女鳥 清治 さん
 甲田町高田原

同意

公平委員会委員の選任

下津江真由美 さん
 吉田町常友

同意

固定資産評価委員会委員の選任

女鳥 清治 さん
 甲田町高田原
 木原 張登 さん
 向原町有留
 小川 博昭 さん
 吉田町常友

同意

諮問 (1件)

人権擁護委員の推薦

兼光 洋子 さん
 向原町坂

承認

発議 (3件)

○地方財政の充実・強化を求める意見書について

○公契約法制定を求める意見書について

○教育予算を増額し、義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書について

全員賛成

※国の関係機関へ提出する。

28
年度
補正

人口減対策に力を

一般会計 14億5462万円増

特別会計 5915万円増

総額 15億1377万円増



本会議の議決風景

議案14件

条例関係 8件

- 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例
- 農業委員会委員の定数等に関する条例
- 議会議員及び市長の選挙における選挙運動費用の公費負担に関する条例の一部を改正する条例
- 乳幼児等医療費支給条例の一部を改正する条例
- ほととぎす遊園設置及び管理条例等の一部を改正する条例

ほか1件

公的財産関係など 1件

- 市道の路線認定について

補正予算関係 5件

- 28年度一般会計補正予算
- 28年度特別会計補正予算（3会計）
- 28年度水道事業会計補正予算

政策的な予算を議決！ 骨格予算に肉付けした予算編成

予算決算常任委員会

6月10日の本会議において審査を付託された28年度一般会計・特別会計補正予算を6月13・14日の2日間委員会を開き、慎重に審査しました。

委員長 金行哲昭
副委員長 秋田雅朝
委員 議長を除く全議員

概要

このたびの補正予算は、先の市長選挙に伴い、28年度当初予算で組まれていた骨格予算へ政策的な予算を肉付けする予算が主なもので、通常の補正予算を含めて編成されている。

主な質疑

■一般会計

■総務部

市内高等学校教育振興補助金の活用は

Q この補助金は市内2校が対象で、具体的な内容は各校に任せるのか。

A 2校が対象で、特色のある学校教育活動に対する助成であり、学力向上の取組みに活用して頂く。

■企画振興部

ふるさと応援寄附推進事業費について

Q 寄附金をより多く募るため、使途の明確化や他市との差別化はどのように図られるのか。

A 使途明確化の検討は今後も重ねる。他市でも申込みの約8割がインターネット経由であり、ポータルサイト等による申込みやクレジット決済を可能にするなど、利便性向上を図りたい。

■市民部

マイナンバーカード受け取りの窓口設置

Q マイナンバーカード受け取りの利便性向上のため、土日と平日延長の窓口設置をしているが、どのような体制にされているか。

A 土日は、本庁が3名から4名体制とし、各支所は2名体制で対応している。平日の時間外については、複数名の配置で対応している。



新築された吉田高校4号棟

ひとくちメモ

ポータルサイト

多くのユーザーが最初にアクセスして訪れるWEBサイトのこと。

GISとは…

位置や空間に関する情報をコンピューターを用いて地図上に重ね

クラウドサービス

従来は利用者が手元のコンピュータで利用していたデータをソフトウェアを、ネットワーク経由で、サービスとして利用者に提供するもの。

生活支援員の配置により高齢者支援 地域の人材等の活用により公営塾を開設

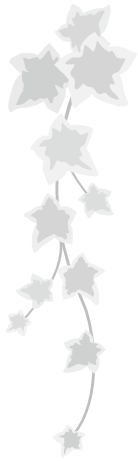
■福祉保健部

高齢者支援体制構築
の生活支援員配置

Q 在宅福祉事業はモデル地区を対象に高齢者の実態調査を行うと説明があったが、モデル地区はどの地域で、生活支援員は何名となるのか。

A この事業は、準備・協議が整った地区から試験的に取り組んでいく考えで、本年度は2地区を想定し、甲田町高田原地区が現在協議中である。残る地区はまだ協議を始めていない。

生活支援員の配置はそれぞれ1名を予定している。



不妊治療費助成の上
限額を撤廃

Q この助成事業は子育て医療の充実として、「重点・拡充」事業で取り組まれるが、上限金額の撤廃ということだが、その経緯と見解は。

A これまでの実績を鑑みて、治療費が高額となることから県が助成した残りを市が全額助成とする仕組みにした。

■教育委員会

児童の指導の場「地域未来塾」を設置

Q 新規事業で取り組む「地域未来塾」の実施場所、実施時間、対象者について詳細な説明を。

A この事業は、参加者に対し、家庭学習習慣の定着と基礎

学力を身につけるために支援をするもので、対象は小学6年生を中心とし、子どもが自主的に参加する形とする。

当面の間は吉田町の市民文化センターにおいて土曜日に開設するが、様子を見ながら市内全域への展開を進めていきたい

いと考えている。

Q この塾を担当する講師についての考えは。

A 基本的には、地域の教育力活用となるので、地域の教員OB、近隣大学の学生、地域企業の方等を考えている。

Q 参加対象者は吉田町以外の児童も可能なのか。

A 吉田町内の児童に限っておらず、他の児童も是非活用して頂ければと考えている。



土曜日に開設予定の文化センター3F

ジビエの特産化にむけて加工施設の改修予定 向原駅のエレベーター更新と稼働時間の改善を



施設改修予定のジビエ加工処理施設（高宮町）

産業振興部

ジビエの活用研究・商品開発等の推進

Q ジビエ特産化事業について、調査設計委託料、工事請負費、備品購入費について内容説明を。

A 調査設計委託料は施設改修工事の委託料、工事請負費は国庫補助による施設改修費、備品購入費は捕獲段階での保冷車、解体車、リフト

などで600万円計上している。

Q ジビエ特産化委託料の積算について、算定根拠は。

A 県内の大学教授、コンサル会社等で、他市町の例を参考に概要を求め、国の「地方創生加速化交付金」を活用し、今回提示した金額を国と協議している。

ただし、ハード分が半額以内というし

整について協議をしているところである。

観光振興の「大都市プロモーション事業補助金」について

Q 神楽東京公演等によって神楽門前湯治村の集客数が増え一定の効果は出ている。

しかし、加工販売部門が伸びておらず、特産品等販売強化の結果が出ていないが、どう受け止め、いつまでに結果を出していく予定なのか。

A 神楽東京公演については、商工業・観光振興の面で経済効果の検証を進めていき、特産品等販売強化事業については、今年度、安芸高田市をもっとアピールできるお土産品の開発に力を入れて強化していきたい。

建設部

向原駅多目的施設エレベーター更新予定



更新予定の向原駅エレベーター

で、JRが運行する時間帯に合わせて稼働することができ

危険空き家を解消するための解体補助金を予算計上

Q 「老朽住宅解体除去補助金」には、上限額があるのか。

A 事業費の3分の1を基本とし、30万円を上限額としている。

Q JR線対策工事費で向原駅のエレベーターを更新されるが、現在では朝早い時間や夜遅い時間には乗れないという課題があり、稼働時間の改善は。

A 現在は駅職員による稼働の管理がなされている。今回の更新では、タイマー管理が可能となるの

6月20日に委員会を開き、議案2件を慎重に審査しました。

(主な審査)

○安芸高田市特別職の職員で非常勤のもの、報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

○安芸高田市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例

委員長 石飛慶久
副委員長 玉井直子
委員 水戸眞悟
熊高昌三
藤井昌之
山本優

特別職の職員で非常勤のもの、報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正

「農業委員会等に関する法律」の一部改正、及び「公職選挙法施行規則の一部を改正する省令」の施行に伴い、特別職の職、並びに報酬を定めるもの

投票管理者

投票所	日額 12,600円
共通投票所	日額 12,600円
期日前投票所	日額 11,100円

投票立会人

投票所	日額 10,700円
共通投票所	日額 10,700円
期日前投票所	日額 9,500円

農業委員会

会長	月額 40,000円
会長職務代理者	月額 35,000円
委員	月額 33,000円
農地利用最適化推進委員	月額 30,000円

個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の一部改正を受け、本市で独自利用をしていく事務についての所要の改正を行うもの

陳情

○公契約条例の制定による適正賃金・労働条件の確保と地域経済の振興を求める陳情

〔陳情者〕 広島県労働組合総連合

〔要旨〕 自治体が発注する公共工事や業務委託について、自治体が適切と考える賃金・報酬が、事業に従事する労働者に確実に支払われるよう公契約条例の制定に向けた検討を願う。

〔審査の経過〕 陳情は趣旨採択として委員会で調査研究をしていく。

○公契約法制定を求める陳情書

〔陳情者〕 広島県労働組合総連合

〔要旨〕 現在ワーキングプアが大きな社会問題となっており、国民・住民福祉の向上を図るべき行政部門においても、公共サービスの民間委託の拡大が低コスト競争を生み、官製ワーキングプアの拡大や行政サービス水準の低下を招いている。国として公契約に働く労働者の賃金・労働条件改善へ向けた具体化を進める公契約法の制定を求めるもの。

〔審査の経過〕 上記陳情は委員会で採択し、発議することとした。

産業建設常任委員会

6月23日に委員会を開き、議案1件を慎重に審査しました。

(主な審査)

○安芸高田市農業委員会委員の定数等に関する条例

(報告事項)

○サテライトオフィス等誘致事業及び起業支援事業について

委員長
副委員長
委員

大下正幸
秋田雅朝
玉重輝吉
先川和幸
穴戸邦夫
塚本近

安芸高田市農業委員会 委員の定数等に関する条例

■概要

農業委員会法改正に伴い、農業委員の選出方法が公選制から任命制に変更。農業委員会の役割が農地等の利用の最適化の推進として強化されることになり、農業委員の仕事分割し、新たに農地利用最適化推進委員を設置する。

■質疑

空戸 農業委員12人、農地利用最適化推進委員35人をどのような形で選ぶのか。
沢田農業委員会事務局長 公募になるが、個人で立候補される場合と個人が個人を推薦する場合、農業者団体等が推薦される場合と3通りがある。その後選考委員会を開くことになっている。

農業委員・農地利用最適化推進委員の定数

●農業委員 12名

安芸高田市（最高19名まで選任することができる）
原則過半は認定農業者

主な仕事

農業委員会の総会での意思決定、つまり農地の権利の許可や農地転用許可等

●農地利用最適化推進委員 35名

安芸高田市（最高51名まで委嘱することができる）
区域は農業委員会で定める

主な仕事

担当区域の「農地利用の最適化」、つまり担い手への農地集積や遊休農地の発生防止・解消等、主に日常的な現場活動

推進委員内訳	吉田町	8名
	八千代町	3名
	美土里町	5名
	高宮町	8名
	甲田町	6名
	向原町	5名



再生前



再生後

農事組合法人により甦った遊休農地（美土里町横田）

一問一答

11人が 市政を問う

一般質問は発言者本人が文章を作成しています。



インターネット議会中継

みてください！一般質問・本会議を

〔視聴方法〕

市ホームページ → 安芸高田市議会 → 議会中継

<http://www.akitakata.jp/ja/parliament/>

○会議録の閲覧…各図書館のほか、ホームページでも閲覧できます。

宍戸 安芸高田市郷土理解学習副読本「安芸高田市ものがたり」（小学校編）、「郷土！安芸高田市」（中学校編）の活用状況と活用計画は。

宍戸 安芸高田市住める補助事業の継続についての考えは。市長 この事業は若者定住を進める中では効果的な制度と想っている。今後は制度の見直しを視野に入れた検討をする。



宍戸 邦夫
(無所属)

郷土学習

郷土理解学習の副読本の活用は

教育長／一般市民の方も対象に活用したい

教育長 各小・中学校では、社会科や総合的な学習の時間を中心に、市内の伝統

文化や歴史、産業、公共施設等の学習に活用している。生涯学習活動では子ども向け講座や一般市民の方を対象に、市民セミナー、高齢者大学などで活用したいと考えている。



読んでみよう！きっと発見があります。

下岡 5月から夏日
となり、夏季の外気

下岡 中学校のエア
コン設備の実態は。
教育長 パソコン教
室や保健室など、特
別室のみ設置してい
る。



下岡多美枝
(無所属)

教育環境の充実

中学校の基礎学力を学ぶ普通
教室にエアコン設備を

教育長/環境改善に向けて
協議を進める



エアコンが設置されている児童クラブと同様に

温度と1教室に20人
以上の生徒の体温で
教室環境は悪化し、
学習意欲が低下す
る。教育環境の充実
にエアコン設備の考
えは。
市長 教育環境を整
えることは非常に大
事なことなので前向
きに考える。
教育長 地球温暖化
の影響で教室も年々
暑さを増す状況にあ

る。
集中して学習に取
り組まれるよう、環
境改善に向けて早期
導入が図られるよう
に協議を進める。
○英語力アップの取
組み
○検定の助成につい
て
○ICT教育の推進
○団体競技の取組み

(その他の質問)

災害対策

権限移譲の県道や市道等の
危険箇所との把握と対応は

市長/要対策25箇所の
緊急点検を実施



久保 慶子
(未来創生会)

久保 島根県邑南町
の県道で落石により
死亡事故が発生。権
限移譲の県道も含め
た、市道等の危険箇
所の把握と対応は。
市長 26年度の道路
ストック総点検で危
険箇所25、経過観察
箇所87、対策不要箇
所24であった。
5月下旬から、要
対策25箇所の目視確
認の結果、大きな変
状はなかった。
要対策25箇所は、
優先順位を検討し計

画的に実施。

久保 危険箇所の公
表の考えは。
伊藤建設部長 甲田



落石により死亡事故が起きた現場(島根県邑南町)

作木線と北船木線、
上甲立1箇所、船木
1箇所。他の箇所は
公表が控えられてい
る。
久保 注意する意味
でも公表した方が良
いと考えるが。
伊藤建設部長 その
ように考える。

市長の三期目

基本的政治姿勢は

市長／健全な財政基盤の確立を



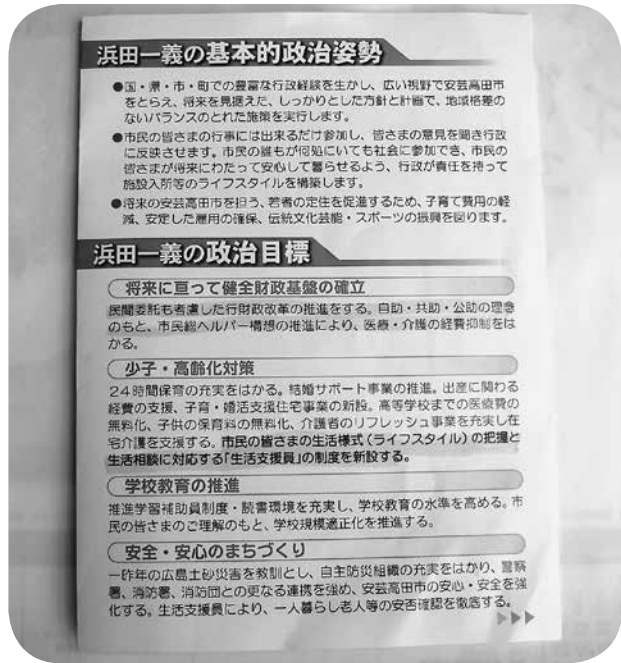
金行 哲昭 (政友会)

金行 高齢化対策で、高齢の皆様の生活様式の把握と生活相談に対する生活支援員とは。

市長 社会環境の変化、本人や家族の健康、介護に関する課題など多くの高齢者の方が将来の生活に不安を抱えておられ、対応策として生活実態を把握し関係機関や地域の方々と協働して、一人ひとりの課題や希望に沿った対応を目的にした生活支援員制度をモデル地区に実施したい。

金行 三期目の市長の基本的政治姿勢はどのように考えておられるか。

市長 合併特例加算措置の段階的縮減が始まり、行財政運営はますます厳しくなり、更なる行財政改革を推進し健全な財政基盤の確立を図る必要がある。



市長の基本的政治姿勢

現状調査・対策について

市長／多文化共生を生かし、実態調査から組織体制へ



前重 昌敬 (絆)

前重 平成36年本市の人口は2万6326人の推計が出ており、今後の人材・人手不足が深刻となる中、市として各分野での現状調査が必要と考えるが。

市長 市として現状

を調査したものはないが、今後の後期高齢者人口急増に伴い、社会介護ニーズはさらに増大し人材の確保、定着が厳しい状況であり、深刻な課題として受けとめる。



多文化共生を生かした人材人手不足対策

前重 県も昨年12月に今後10年間で介護職員等の不足がどうなるか調査をされた。市も早い段階で実態調査し対策を考えるべきでは。

市長 多文化共生を生かし実態調査を実施してみたい。

青原 屋外スピーカー設置について、その後の状況はどうか。
市長 災害時における情報伝達手段として、お太助フォン、緊急速報メールや広島県防災情報システム、自主防災組織等、市民に啓発したいと考える。屋外の情報発信手段は、市、市消防団の広報車等で、幅広い情報を発信して、防災対策に努めたい。
また、いろいろな



青原 敏治
(未来創生会)

防 災

屋外スピーカーの設置は

市長／今後判断したい

ところに相談しながら、皆様方に判断してもらおうということ



復活が望まれる屋外スピーカー

にしたいと思うので、時間をもらいたい。今はそういうことをお約束したいと思う。

秋田 本市の生産法人や集落営農組織等の担い手不足対策には、課題解決となる環境整備が行政の役割と考えるが。
市長 働き手不足の状況があり、若者と仕事を結ぶ仕組みの



秋田 雅朝
(未来創生会)

地域農業の将来展望

担い手不足対策は「今」が必要では

市長／成果の出る取組みを検討していきたい

構築を検討している。農業を雇用の場にするには、環境整備が必要であり、求人と雇用のマッチングにより後継者が育つよう関係機関と協議を重ねたいと思っている。
秋田 持続可能な地域農業を目指すには



農事組合法人の田植作業
(2人で協力して大型機械で)

担い手不足の解決が必要で、実態では5年先の展望が見えず「今」の対策が必要だと考えるが見解は。
市長 ご指摘のように課題解決なくして活性化はなく、独自の施策等を含め成果が出る取組みを検討していきたい。

財源が膠着する中、
新しい形の自治体
市長／時代に即応した組織改
正や仕事の中身が必要



石飛 恒常的経費の削減、上下水道や公共施設の使用料など受益者負担の適正化の推進は。
市長 説明会などで、丁寧な説明に努め理解をいただく。



施設の役割・歴史的背景・利用者の思いのある公共施設

石飛 低所得者に対する減免措置は。
市長 課題として受けとめる。
石飛 財源が困窮する中、議会費は、執行部として手が出せない聖域なのか。
市長 議会費・議員

定数は聖域ではない。
石飛 財源が膠着する中、新しい形の自治体をつくる時代では。
市長 過去の伝習でなく、時代に即応した組織改正や仕事の中身が必要である。



玉井 子育て支援の充実で市の保育所規模適正化計画に基づいて進められている甲田の保育所の状況は。

子育て支援
市の計画に基づいた
保育所のこれからは
市長／更新にあわせた
施設整備を実施していく

市長 老朽化の著しい3保育所を集約して新設の「幼保連携型認定こども園」として整備することを検討している。
本年度は保護者等へ内容の説明、建設候補地決定及び用地取得。次年度は、運営法人の募集手続に入り平成31年4月開園を目指す。



新保育所の建設予定地

玉井 市全体の保育園に対する考えは。
市長 本市では保育料の無料化を見据えて保育ニーズの動向に見合う保育量の確保と並行して実施しながら段階的に保育料の軽減策を展開。さらなる子育て世代の負担軽減策に取組み、子育てしやすいまちとしての魅力を高めたい。

熊高 検査をどう受け止めているか。
市長 検査委員会や議会の場で責任を

市長旅費問題

熊高 県の支援は。
市長 現在は無く、今後強く働きかける。

ジジエムについて

熊高 具体的な取組
みは。
市長 目標値へ毎年48組のUIターンで。



熊高 昌三
 (未来創生会)

人口減対策

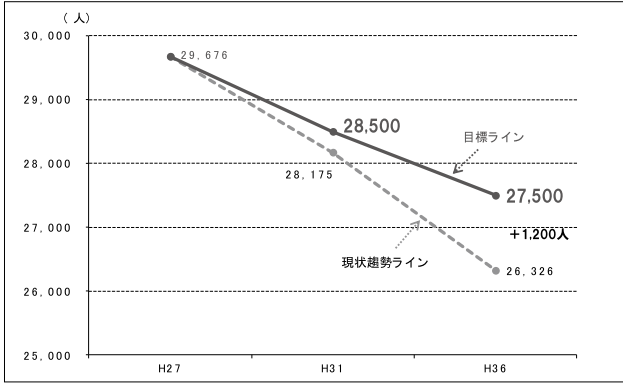
将来の人口動態をどう考えるか
市長／人口推計方式で取り組む

持って説明したい。

JR三江線問題

熊高 協議をふまえてのお考えは。
市長 存続を踏まえ

総合計画における目標人口



※出典：日本の地域別将来推計人口（平成25年3月、国立社会保障・人口問題研究所）に基づき作成

目標人口の設定根拠

目標人口は、島根県中山間地域研究センターが開発した「地域人口予測プログラム」により算出。①～③に示す計48組のUIターンを市全体で毎年確保する。
 ① 年16組の30歳代前半夫婦が4歳以下の子どもを連れてUIターン
 ② 年16組の20歳代夫婦がUIターン
 ③ 年16組の60歳代前半夫婦（定年退職者）がUIターン

人口推計方式の図表

新しい地域支援のかたちは。

熊高 具体的にどのような取組みを行うのか。
市長 本年度生活支援員制度の配置を考えている。まずはモデル的に2箇所を予定している。

て、生活交通確保を考えて取り組む。

児玉 平成28年度の一般会計歳出推計は187億円となっているが、今回の予算規模は193億円となっており、財源不足の対応は。
市長 体力のあるうちに、基金を取り崩



児玉 史則
 (無所属)

財政健全化

財源不足対策は

市長／基金の取り崩しで対応

児玉 資産老朽化率の悪化、社会保障費に充てる財源を考えると、基金の枯渇は許されないので。
市長 指摘の通りだが、基金に頼らざるを得ない。難しいが、施設の廃止や公共料金の検討を進めていく必要があることは

して対応する。



利用者の少ない公園

認識している。

人と人とのネットワークづくり

児玉 子育て世代へのアンケートで、公園設置の要望が60%あり、その評価は。
市長 指摘のとおり身近に公園がない。用地買収して作っていくことも検討課題。

現状維持で!!

(議員定数問題)

議員定数については第1分科会で協議を重ねてきたが、方向性が出ず議会改革特別委員会全体で協議を行うこととし、委員会では各議員からアンケートを実施することにした。

アンケート(5月18日締切)を基に協議の結果、今年11月の改選時には現状維持の18名で選挙を行うこととなった。

議員各自の意見を120字以内でまとめて提出していただいたものを市民の皆様へ報告、掲載させていただきます。

アンケート結果

現状維持 13名
定数削減 5名

現状維持

議員定数の削減については大事な課題ではありますが、今は現状維持でいいと考えます。

人口減少や財政状況などを考慮しながら、市民の声の代弁者として議員の役割を果たしていくことが大事だと思いません。(玉井直子)

議員の定数削減についての議論は、十分に尽くされているとは思えないため、現状維持でいいと考える。財源不足を議員定数の削減で補うことは適当でない。市民の声の代弁者としての機能を果たすためにも、安易な削減はすべきでない。(久保慶子)

人口減少し財政力

の低下は、行財政規模が縮小することになる。しかし、規模が小さくなるからといって議会の役割が小さくなる訳ではない。地方を取り巻く環境が厳しくなればなるほど限られた資源を有効活用する必要がある。そのためには現状の議員定数が必要。(児玉史則)

議会として市民に説明責任を果たすことが求められている。議員の定数削減について、議論も十分検討されていない。議員としての自覚、意識も考えなおす必要があると思われる。

しかし、地域性を考えて議員の目が届くためには、現状維持で良いと思う。(大下正幸)

社会的には地方財

政の窮迫と地方議会不要論の相乗作用により定数削減の風潮にあると考える。しかし、地域特性と課題の市政への反映や少数意見の情報集約の必要性に鑑み現状維持と考える。今後削減方向の議論は深化するが新地域の一体性の確立が急務である。(水戸眞悟)

今後人口減少はさらに進み、持続可能な行政手法はこれまでに以上求められてくる。中山間地域で広域な行政区域を持つ本市においては当面、現在の定数で独自の善いにならない様広く、慎重に今後の方策についてお互いの知恵を出し合い市民の負託にこたえる必要がある。(先川和幸)

今後は現状維持とする。定数は多い程

民意は反映されるが、次の前提条件を整え定数10〜15人とする。

・議員の質の向上と議会の機能強化を図る。
・若年層や女性層等、幅広い議会となる様に待遇改善に取り組み。
・選挙区を町単位で6つの小選挙区と全区の併設制とする。(熊高昌三)

自治体議会は住民による自律的な政治行政が求められ、できるだけ多くの立場の考えや意見が必要。定数減について深く議論されておらず、次期選挙(11月)は現状維持。人口問題、財政状況も大きく関わるもので、今後の大きな課題。(尖戸邦夫)

これまでの定数削

議員定数は

減の経緯の中で、本市の人口減少は大きな要因であったと思っておりますが、今後人口減少が続くとしても、議員活動の中では地域性を重視し、市全体の発展に向けて負託に応える必要があるという観点から、現況では現状維持が適切ではと考えます。

(秋田雅朝)

議員定数の改正については、合併後市民や地域の意見をうけ改正して参りました。単に行財政改革という視点だけでなく、市民の現状や課題、人口、面積、財政力、各課題といった多面的な視点を考慮して、今後市民の皆様と共に検討すべきと考えております。

(塚本 近)

市長、議会とは何

か。よりよい地域をつくるために、政策提案から執行までを両者が住民の声を取り入れながら、特に議員は地域代表者であり議会の審議の能力を高めることが求められる。幅広い意見を持った審議を行うため議員数の確保は必要です。

(金行哲昭)

議員の定数削減について、
一、定数について十分な議論がなされていない。
一、財源不足を、議員定数の理由とするのは、適当でない。
一、住民の声を市政に伝える機関として、また、機能として安易な削減はするべきでない。

(青原敏治)

平成24年の市議会

議員改選時に定数を20名から18名に削減しています。人口減の中、将来的には地域面積も考慮して協議する必要があると思います。今回は協議も不足しており現状維持が妥当と思います。

(山本 優)

定数削減

現在の安芸高田市の財政状況は大変厳しい中、また人口も3万人を下回り、職員定員削減、小学校統合、少年自然の家閉鎖を行っている。この結果は、二元代表制の一翼を担う議会に大きな責任がある。議会自らが、定員削減をし、厳しい状況に身を置くべき。

(玉重輝吉)

合併して激動の10年経過した。財政状

況や人口減少を加味しながら将来を想定し、少数議員で構成しても市全体の発展に向けて、議会運営ができるように、身を切る覚悟で、定数削減を決断して、若い世代にも魅力のある市議会のビジョンを作り上げるべきである。

(下岡多美枝)

人口減少、10年後の市人口推計、市職員の適正化の進む中また、同じ人口規模での近隣市の議員定数を参考とすれば、定数削減は避けられないと考える。但し行財政運営の批判と監視を保つ為にも議会内の改革は必要。市民の声を執行部へ届ける仕組みづくりを早急に。

(前重昌敬)

市民の為の議会制民主主義の在り方

を、市民とその代表である議会、行政が論議し、定数の結論を出すべきですが、人口減・交付金減の現段階で、多岐に涉った行政サービスの持続性を、議会より優先とするならば、議会人として現状維持に固執せず、定数減です。

(石飛慶久)

- ① 財政問題、人口減少時代に対し定数削減すべき。
- ② 市民の議会への不信任、不満感があり市民の負託に応え議会改革を行い議員の資質、役割、責任が必要。
- ③ 二元代表制の機能が発揮されていない。
- ④ 市民のための開かれた議会運営がなされていない。少数精鋭で可。

(藤井昌之)

事務検査特別委員会の方向性を決定！

経過報告

今回は、議会だより臨時号及び第49号で報告後の事務検査について報告します。（第14回から第18回の委員会報告）

市長の出張旅費に関する事務検査特別委員会

委員長 塚本 近
副委員長 熊高 昌三
委員 久保 慶子
石飛 慶久
秋田 雅朝
藤井 昌之

中間報告（第13回まで）の指摘事項に対する執行部の改善事項

- ① 「旅費の手引き」の改正（様式を4月1日より変更）
- ② 変更が生じた場合の変更申請日・変更命令日記載欄を設定。
- ③ 旅行命令簿作成者欄の設定。
- ④ 金額欄を、当初・概算・変更・精算・精算時の差額に分割。
- ⑤ 公用車使用の場合の記載欄を設定。
- ⑥ 外部団体等の支給がある場合は別紙を添付するよう記載。

- ① 可能な限り公共交通機関または公用車の利用を原則とするが、迅速性、効率性、経済性の面で合理的な手段として認められる基準を設定。
- ② タクシー料金を支出する際は、それらの事情を証明できる書類及び支払いを証明する書類の添付が必要。

（第14回から第18回）

1. 検査事項
24・25年度の市長の出張旅費について
2. 検査方法・日程
対象年度の出張旅費に関する資料により5回の検査を行う。

3. 検査概要
旅行命令簿の記載方法、公用車、タクシー使用の考え方などに、課題が見受けられた。

4. 検査の過程で出された課題、意見等
 - ① 旅行命令簿
 - ・ 誤記入や記載漏れ等の不備があった。
 - ・ 日付と時間帯を明確にすべき。
 - ② タクシー利用
 - ・ 利用した際の乗車場所や目的が不明瞭である。
 - ・ 乗車した際は、メロや番号を付けるなど、明確にして精算されるべき。

- ③ 外部団体に関する回答が二転三転したことについて監査委員へ調査依頼する。
- ※この件に関する監

査委員への調査依頼については、「市が出資する公益法人であれば、検閲・検査及び監査の及ぶ範囲であるが、外部団体の場合は対象外となる。」と後日、調査により判明した。

今後の方向性

6月6日開催の委員会、今後の方向性を決定しました。
6月定例会では委員会報告は行わず、9月定例会で最終の委員会報告を行うこととし、9月までは28年4月以降の事務改善状況を検証する。
9月定例会で市長の給料の減額条例の提出の調整を進める。

27年度 政務活動費収支報告

市政の課題を把握し反映させる活動に
14名で288万円を支出 216万円を市へ返納

平成27年度政務活動費収支報告一覧表

単位：円

	氏名	交付金額	支出額	支出内訳						残余金 (返納額)
				研修費	広報費	要請・ 陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	
1	玉重 輝吉	申請なし	—							—
2	玉井 直子	360,000	288,234	279,210					9,024	71,766
3	久保 慶子	360,000	304,770	241,418					63,352	55,230
4	下岡多美枝	360,000	244,000	211,600					32,400	116,000
5	前重 昌敬	360,000	286,173	195,838					90,335	73,827
6	石飛 慶久	申請なし	—							—
7	児玉 史則	申請なし	—							—
8	大下 正幸	360,000	39,876						39,876	320,124
9	水戸 眞悟	360,000	31,476						31,476	328,524
10	先川 和幸	360,000	108,156	76,680					31,476	251,844
11	熊高 昌三	360,000	357,568	180,162				250	177,156	2,432
12	穴戸 邦夫	申請なし	—							—
13	秋田 雅朝	360,000	245,414	213,938					31,476	114,586
14	塚本 近	360,000	65,556			25,680			39,876	294,444
15	藤井 昌之	360,000	360,000	360,000						0
16	金行 哲昭	360,000	249,070	208,570					40,500	110,930
17	青原 敏治	360,000	166,929	122,646					44,283	193,071
18	山本 優	360,000	137,174	83,218	5,916		4,000		44,040	222,826
	合計	5,040,000	2,884,396	2,173,280	5,916	25,680	4,000	250	675,270	2,155,604

※政務活動費を使用した活動による支出額が交付額（年間36万円）を超えている場合は、交付額を記載しています。（超えた部分は自己負担です。）

※すべての支出について、領収書等で確認をしています。

【政務活動費あれこれ】

○政務活動費

条例に基づき、議員の調査研究・活動に要するために必要な経費の一部が交付されます。安芸高田市では、議員個人に月額3万円交付されています。

○支出の対象項目

条例に定められた項目にしか支出できません。〔調査研究費・研修費・資料購入費・資料作成費・広報費・広聴費・要請陳情活動費・会議費〕

○政務活動報告書

調査・研修など、安芸高田市外で活動を行った場合は、終了後30日以内に報告書を提出するよう定めています。報告書はホームページに掲載しています。

第1回臨時会

4月25日に第1回臨時会を開催し、同意2件、承認2件を審議しました。

同意（2件）

○教育委員会教育長の任命

永井 初男 さん
美土里町北

同意



子どもたちの持つ可能性を最大限伸ばす教育環境と市民の生涯学習機会の充実に努めます。
（任期28年4月28日～31年4月27日）

○教育委員会委員の任命

上田 隆之 さん
吉田町吉田

同意

承認（2件）

○専決処分した事件の承認について
【安芸高田市税条例等の一部を改正する条例】

○専決処分した事件の承認について
【安芸高田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例】

承認

新議長のもと綱紀粛正を決議

第2回臨時会

7月19日に第2回臨時会を開催し、議長の選挙等を行いました。

この度の議長選挙は、7月11日の山本優議長の議員辞職に伴い行ったもので、その方法を議員全員で協議をした結果、立候補制は行わず指名推選としました。選挙の結果、後任に藤井昌之議員を全会一致で議長に選出しました。



議会に対する市民の信頼回復と議会運営の正常化に向け任期満了迄全力で取り組んでまいります。
（任期28年7月19日～28年11月30日）

安芸高田市議会における綱紀粛正に関する決議

このたびの同僚議員の行為は、一議員の問題としてではなく議会全体の姿勢が問われるものである。

私たち議員は、このことを重大に受け止め、市民の皆様にも市議会としてお詫びを申し上げますとともに二度とこのような行為が繰り返されることのないよう、公人としての責任と自覚を再確認し、速やかに市民の信頼を回復することを目指すものである。

以上、決議する。

また、臨時会の最後に発議第5号として左記の決議を全員賛成で可決しました。

各種委員会の異動

○芸北広域環境施設
組合議会議員
藤井 昌之

○議会改革特別委員会
委員長
先川 和幸

副委員長
熊高 昌二

○議会広報特別委員
熊高 昌二

○その他
予算決算常任委員会及び議会改革特別委員会の委員は、議長を除く全議員となっていることから、藤井議員が外れ、それぞれ1名欠員となりました。

また、市長の出張旅費に関する事務検査特別委員会も藤井議員が外れ、6名から5名となりました。

総務企画常任委員会は、山本議長の議員辞職に伴い1名欠員の5名となりました。

全国・中国市議会議長会 議員表彰

- 全国市議会議長会表彰：塚本 近 (議員15年) 山本 優 (議員10年)
- 中国市議会議長会表彰：青原 敏治 (議員24年) 山本 優 (議員12年) 穴戸 邦夫 (議員8年)

議会のうごき

議会のうごき 28年4月～6月の議会の主な活動状況

4月

- 1日 市長の出張旅費に関する事務検査特別委員会
- 13日 市長の出張旅費に関する事務検査特別委員会
- 14日 議会広報特別委員会
- 19日 議会運営委員会
- 20日 全員協議会
市長の出張旅費に関する事務検査特別委員会
- 25日 第1回臨時会
- 27日 議会広報特別委員会
市長の出張旅費に関する事務検査特別委員会

5月

- 6日 議会運営委員会
- 10日 議会改革特別委員会
- 11日 議会運営委員会
- 16日 市長の出張旅費に関する事務検査特別委員会
- 18日 全員協議会
- 24日 総務企画常任委員会
- 27日 議会運営委員会
産業建設常任委員会
- 30日 文教厚生常任委員会

6月

- 3日 議会運営委員会
議会改革特別委員会
全員協議会
- 6日 市長の出張旅費に関する事務検査特別委員会
- 9日 議会広報特別委員会
- 10日 第2回定例会(開会)
議会改革特別委員会
全員協議会
- 13日 予算決算常任委員会
- 14日 予算決算常任委員会
- 15日 第2回定例会(一般質問)
- 16日 第2回定例会(一般質問)
- 17日 全員協議会
議会運営委員会
- 20日 総務企画常任委員会
- 21日 文教厚生常任委員会
- 23日 産業建設常任委員会
- 27日 議会運営委員会
第2回定例会(最終日)
全員協議会
- 28日 議会広報特別委員会

■28年第3回定例会は9月上旬から開会を予定しています。

※詳細は、お太助フォンや市のホームページでお知らせいたします。

傍聴記

八千代町

籠田昭造さん

五月に全員協議会、六月は一般質問を傍聴した。市長の出張旅費問題を為にせんと市長選挙直前に「議会だより臨時号」を発行したエネルギー等殆ど感じられなかった。公費で発行する紙面を選挙妨害とも言える広報に利用するような愚を二度と繰り返さないよう要望する。また、「執行部への課題と指摘事項」として述べられているなかに、そっくりそのまま議員にお返ししたいこともある。私のみならず良識ある多くの市民が皆さんの言動を刮目していることを忘れないでほしい。

地域のかがやき

吉田 地域の宝 地域で守るための清掃作業



可愛地区振興会 (6月18日)

八千代 第13回ホタルまつり



安森・上佐々井区元気になろう会 (6月11日)

美土里 小中合同クリーン大作戦



桑田の庄 / 敬覚寺にて (6月15日)

高宮 乗って残そうJR三江線



「コスプレ列車」を出迎える毛利隆元公 (6月12日式敷駅)

甲田 本番前に行われた小田小 全校児童による演技



第30回大土山田楽大花田植 (6月5日)

向原 向原町観光協会と保垣照山会の皆様



鷹の巣山 (標高922m) 山頂清掃(5月29日)

編集後記

広報委員長として、市民に、読み易く解りやすい広報誌となっているだろうか改めて考えています。

今回第50号という節目の発行であり、諸先輩の御労苦に感謝し、広報委員が協力して広報づくりに取り組んできたことに少しの誇りを持っているところです。

しかしながら、議会においては、市民の皆様には御心配をおかけした点につきまして、お詫び申し上げます。

議員全員で綱紀粛正を決議致したところです。

人口減少問題を市民全体で認識し、将来像「人がつながらる」まちづくりに向けて、官民一体となった取組みを望むところです。
(秋田雅朝)

〈発行責任者〉

議長 藤井 昌之

〈議会広報特別委員会〉

委員長 秋田 雅朝

副委員長 久保 慶子

委員 玉重 輝吉

委員 玉井 直子

委員 下岡多美枝

委員 熊高 昌三